

ストップ!ザ ハッ場ダム

ニュース 群馬(34)

ハッ場ダムをストップさせる群馬の会

事務局長 鈴木 庸

TEL 027-224-8567 FAX 027-224-6624

群馬での証人尋問が行われます。

平成25年12月9日(月)午後3時 東京高裁(東京の霞ヶ関)825号法廷(8階)

地すべり問題の証言(坂巻幸雄先生 45分)

応援に駆けつけてください。

裁判の目(第27回) ～～群馬事件で証人尋問～～

平成25年11月21日

弁護士 福田 寿男

群馬事件では、9月2日の第1回公開法廷に続き、12月9日に公開の法廷で証人尋問が行われます。

証人は、地質・地すべりの専門家であり、また調査のためハッ場現地に何度もお越しにいただいている元工業技術院地質調査所主任研究官・技術士の坂巻幸雄先生です。

尋問において、先生には、国交省によるハッ場ダム検証のもとになった「H22 ハッ場ダム周辺地状況検討業務報告書(平成24年2月)」(日本工営株式会社)を詳細にご検証いただきます。

正確には、この報告書は、国交省関東地方整備局ハッ場ダム工事事務所の委託により、日本工営(株)という調査会社が受託し、平成23年1月から平成24年2月にかけて調査したもので、その業務目的は「ハッ場ダム周辺の地すべり懸念地および未固結堆積物斜面を対象に貸与された資料をもとに、概略的に対策工の検討を行うこと」とあるのですが、その内容は……。

ということで、この続きは当日の証人尋問で。

なお、他都県の状況を簡単にまとめておきます。

- ①東京事件：3月29日高裁判決→最高裁へ上告
- ②千葉事件：10月30日高裁判決→最高裁へ上告
- ③栃木事件：11月12日高裁結審→1月27日16:00～ 判決 101号法廷
- ④茨城事件：12月19日(火)15:30～ 最終弁論・高裁結審予定 825号法定
- ⑤埼玉事件 1月21日(火)11:00～ 口頭弁論 717号法廷

《

ハッ場ダム 七つの大罪～本当に本体工事を始めていいのだろうか？

主催：ハッ場あしたの会 2013年11月17日(日) 高崎シティギャラリー

第1部

1. 「吾妻渓谷カヤックの魅力」ビデオ&メッセージ

カヤッカーの目線で見ると吾妻渓谷は曲がりくねっていて、2～3メートルと狭い川幅も下って迫力満点！この地形が自然の洪水調節機能をもたらしているのである。

2. 「ハッ場ダム七つの大罪～ダム事業がこのまま進むと、どうなるのか？」(要旨)

嶋津暉之(水問題研究者・ハッ場あしたの会運営委員)、伊藤祐司(群馬県議会議員)

(1) ハッ場ダム基本計画の変更(工期の変更：2015年度→2019年度)とその問題点

①2019年度にハッ場ダムは本当に完成するのか？

◇付替鉄道の「川原湯温泉」新駅の駅前整備工事はひどく遅れている。

◇仮にダム本体工事が予定通り、2019年度秋に完成したとしても、その後の半年間の試験湛水で地すべりが起きれば、ダム完成は大幅に遅れることになる。

◇ハッ場ダムは事業費再増額の5度目の基本計画変更が行われることは必至。増額要因(地すべり対策費・東電への減電補償・代替地安全対策費など)を踏まえれば、事業費増額は500億円以上と予想される。

ハッ場ダム事業は進められても、混迷の様相を呈していく

(2) ハッ場ダム本体工事が進むことによる問題

①本体工事の進行とともに失われていくかけがいのない自然

◇本体工事予定地周辺は急峻であるため、植林がされず、群馬県で有数の自然林が残っている。かつて、若山牧水がこの景観を守ってほしいと願ったが、本体工事の進行とともに自然林が壊されていくのである。

(3) ダム本体工事後の問題—試験湛水中の地すべり発生の危険性

①国交省の調査でもダム貯水池予定地周辺は地すべりの可能性がある地区が22ヶ所もあり、地質が脆弱な所ばかりである。

◇ハッ場ダムの地すべりの危険性がマスコミで取り上げられ、2011年のハッ場ダムの検証では対策箇所数を大幅に増やし、地すべりと代替地の安全の追加対策に150億円が必要であることが示された。

ハッ場ダムの検証で示された地すべり対策と代替地安全対策が実施されるか、わからないが、たとえ実施されても、ダム本体完成後の試験湛水中、さらにダムの運用開始後、貯水位を上下させていると、深刻な地すべりが起きる危険性をはらんでいる。

(4) ハッ場ダムが完成したら、吾妻渓谷、ハッ場ダム湖はどうなるのか？

①ダムが完成して洪水が貯留されるようになると、岩肌を洗う機会が激減し岩肌をコケが覆い、草木が茂って、残された吾妻渓谷の中下流部の様相が大きく変わるであろう。

◇下久保ダム直下の三波石峡はダム完成後、岩をコケが覆い、草木が生い茂って、渓谷の魅力を失ってしまった。吾妻渓谷も同じ運命をたどるであろう。

◇ハッ場ダム予定地は吾妻川の中流部に位置しているため、上流域から多量の汚泥物が流れ込んでくるので、藻類の異常増殖による水質悪化が予想されるダム湖になる。

(5) 川原湯温泉はどうか

①川原湯温泉街はかつて 20 軒の旅館があったが、打越代替地で営業するのは 5 軒前後の見通しである。

◇今後の川原湯温泉街には、配湯施設や地域振興施設の維持管理費の負担問題、温泉の泉質、観光資源の問題、代替地の安全性の問題がある。

(6) ハッ場ダムの堆砂問題

①ハッ場ダムの堆砂見込み量は利根川水系の既設ダムの堆砂実績と比べても過小である。

◇ハッ場ダム流域の地質は堆砂が進みやすく、実際には計画の 3.5 倍の速度で堆砂が進行する可能性が高く、約 50 年でハッ場ダムの夏期利水容量は半分になり、利水機能は半減する。

◇ダム湖上流側の堆砂の進行は、流入する吾妻川の河床を上昇させ、ダム湖上流に位置する長野原町中心部で氾濫が起きる可能性を生じさせる。

(7) 浅間山の噴火とハッ場ダム

①浅間山は常に大きな噴火が起きる危険性をはらんでいる。

◇泥流の総流量を過小想定・・・天明泥流(天明 3 年・1783 年)の総量を国交省は約 1 億 m^3 程度としているが、これはハッ場ダム下流の原町での数字である。天明泥流は吾妻渓谷が遮られ、その上流部に堆積したから、ハッ場での泥流の総量は 1 億 m^3 よりはるかに多いはずである。天明泥流のピーク流量の規模が毎秒 15~20 万 m^3 にもなった。ハッ場ダム基本計画による最大洪水流量は毎秒 3 千 m^3 であるから、50~67 倍規模の泥流が 30 分で一挙に押し寄せることになる。

◇泥流到達前にハッ場ダムの事前放流が可能という安易な想定・・・天明泥流は浅間山からハッ場ダムまで到達する時間は 30 分以内である。ハッ場ダムの貯水池が満杯の場合、空にするのに 1 日以上かかるので、浅間山の大噴火が突然起きた場合、とても間に合わない。

浅間山噴火で天明 3 年並みの泥流が流下した場合、貯水池の事前放流はとても間に合わず、1 億 m^3 よりずっと大量の泥流が一挙にハッ場ダム湖に流入し、ハッ場ダム湖の水位が急上昇して、周辺の代替地を洪水が襲い、ダム下流部にも大きな洪水をもたらす、氾濫を引き起こすことが予想される。

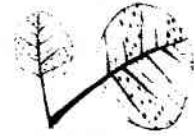
◇ダム本体の問題・・・ダムサイト予定地は高透水帯、熱変質帯で岩盤に節理(割れ目)が非常に多く、1970 年の国会答弁ではダムサイトとして不適な地盤とされていた。

◇国交省は 2007 年 12 月、予想より岩盤の質がよかったとして、本体工事の大幅な設計変更を行った。コスト削減のため、ダム本体の岩盤の掘削深さを 18m→3m、掘削量を 149 万 m^3 →68 万 m^3 、ダム本体のコンクリート量を 160 万 m^3 →91 万 m^3 へと大幅に削減した。

ハッ場ダムは地すべり対策もそうであるが、安全確保のため、最も金を投じなければならぬところのコストをカットしているダムである。将来、大地震や浅間山噴火が起きた時には取り返しがつかない大惨事を起こす危険性がある。

※政府・国交省は 2014 年秋頃にダム本体工事を着工しようとしている。ハッ場ダム本体工事を中止させる運動はこれからどうあるべきなのか、“絶望のなかに希望はあるのか”が問われている。厳しい状況下であるが、あきらめず訴え続けたい。

ハッ場ダム住民訴訟9周年報告集会



ダムにたよらない流域治水 夜明け前

～滋賀県の挑戦にまなぶ～

今秋、関東六都県の議会は、4回目のハッ場ダム基本計画変更案（工期延長）を承認してしまいました。多くの災いをもたらすハッ場ダムを見直す折角の機会を逸し、利根川の治水・利水政策は時代を逆行りする道を進んでいます。ハッ場ダム住民訴訟は高裁での闘い、最高裁への上告によって、断固、このような時代錯誤の流れに立ち向かっていきます。

かたや滋賀県では嘉田由紀子知事が「ダムだけにたよらない流域治水」を実現するため、全国でも初めて建築規制にまで踏み込んだ条例の制定をめざし、県議会でダム推進派とのせめぎ合いが続いています。

真に住民の命を守るための治水とはどうあるべきか、滋賀県の先進的な取り組みに学び、ハッ場ダム建設という最悪の選択肢以外の、新たな未来のビジョンを探ります。

大勢の皆さんのご参加をお待ちしています。

日時 2013年12月21日(土) 13:30～16:30

会場 全水道会館4階
大会議室

JR水道橋駅 東口下車2分
都営地下鉄三田線水道橋駅 A1出口1分

オープニング 吾妻渓谷カヤック川下り上映 (13:20～)

○ 今本博健 京都大学名誉教授 講演

「ダムにたよらない治水を実現しよう

—滋賀県・流域治水推進条例の試み—

○ 嶋津暉之 ハッ場ダムをストップさせる市民連絡会代表 報告

「ハッ場ダム問題の今後」

○ 裁判報告 ハッ場ダム住民訴訟弁護団より

○ 各都県からの報告

○ 集会アピール

参加費 500円

主催 ハッ場ダムをストップさせる市民連絡会、ハッ場ダムをストップさせる群馬の会・茨城の会・埼玉の会・千葉の会・東京の会、ムダなダムをストップさせる栃木の会
連絡先 ハッ場ダムをストップさせる東京の会 T/F 042-341-7524 (深澤)

全水道会館への交通案内

